

『2021年卒マイナビ大学生インターンシップ前の意識調査』を発表 インターンシップを選ぶ基準は「参加しやすい場所」と「短期間」が5割超え

株式会社マイナビ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川信行)は、2021年卒の学生を対象にした『2021年卒マイナビ大学生インターンシップ前の意識調査』を発表しました。なお、本調査は2018年から実施し、今回で2回目となります。調査結果の概要(一部抜粋)は以下の通りです。

調査概要

2021年卒の学生のうち、6月末時点で既にインターンシップへの参加経験がある学生は23.8%(前年比5.0pt増)となり、インターンシップへの応募以降に進んでいる学生は77.0%にもものぼった。インターンシップを選択する基準としては、「参加しやすい場所」や「期間が短期間」の回答が多く、5割を超えた。

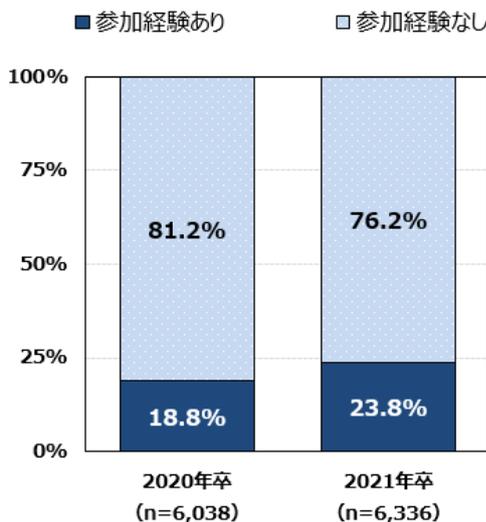
また、学生が参加したいインターンシップの内容として、「フィードバックが自身のためになる」、「実際に社員が働く職場の見学ができる」が上位となった。

企業側には、学生が参加しやすい環境を整えるとともに、「学生としっかり向き合い、適正なフィードバックが行われている」ことや、「よりリアルな実務を体験できる場が提供されている」などの内容の工夫が求められる結果となった。

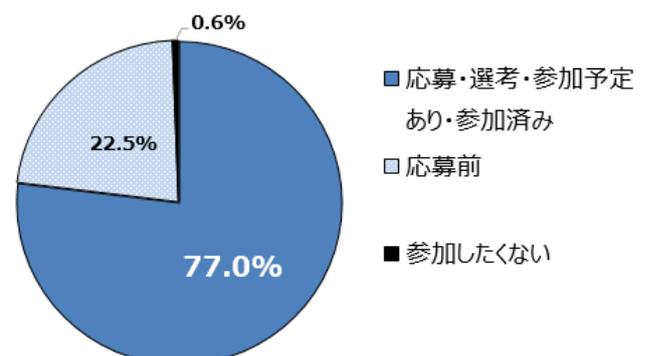
《TOPICS》

- ・これまでにインターンシップの参加経験がある学生は23.8%(前年比5.0pt増)【図1】
- ・インターンシップにおいて「応募・選考・参加予定あり・参加済み」まで進んでいる学生は77.0%【図2】
- ・『インターンシップを選択する際の基準』は、「参加しやすい場所で開催される(59.0%)」が最も高く、次に「参加期間が短期間である(51.3%)」が続いた【図3】
- ・『参加したいインターンシップのプログラム内容』としては、「フィードバックの内容が自分自身のためになる(63.2%)」の割合が最も高く、「実際に社員が働いている職場を見学することができる(55.8%)」、「個人に対して定期的にフィードバックを受けられる(55.5%)」が続いた【図4】

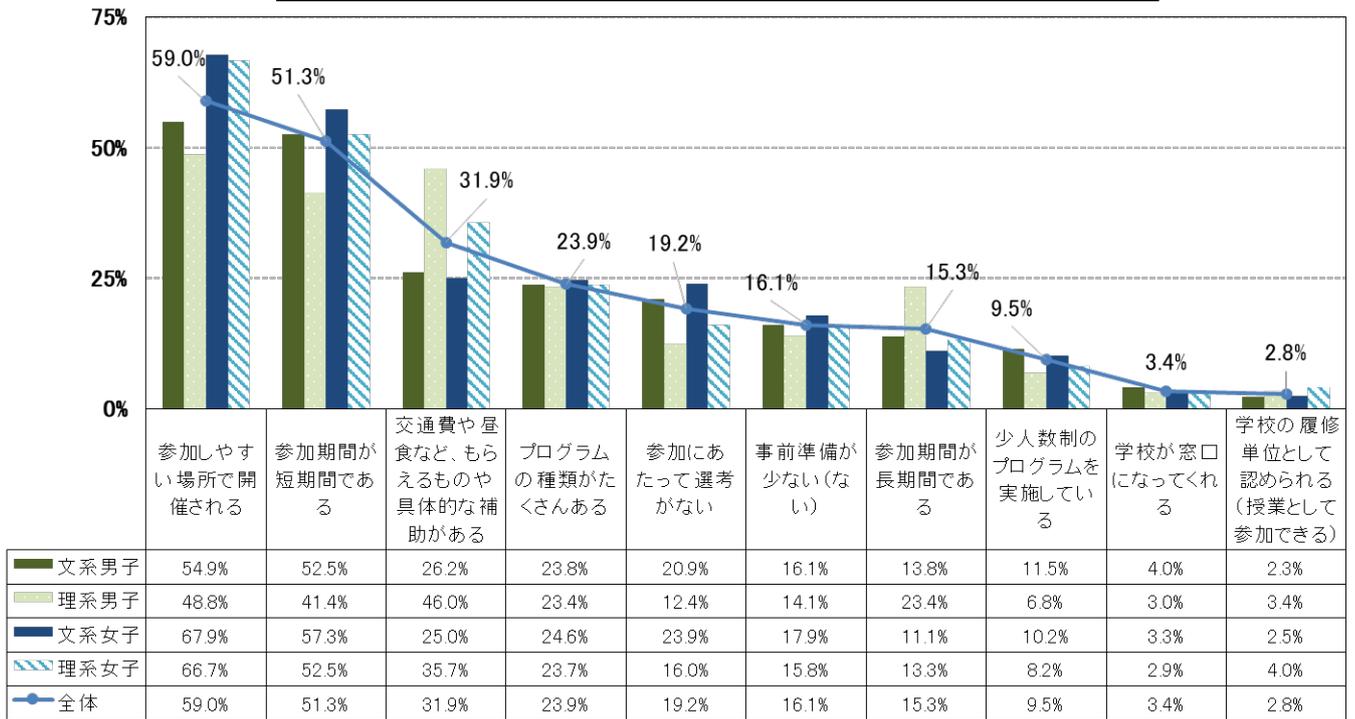
【図1】インターンシップ参加経験の有無



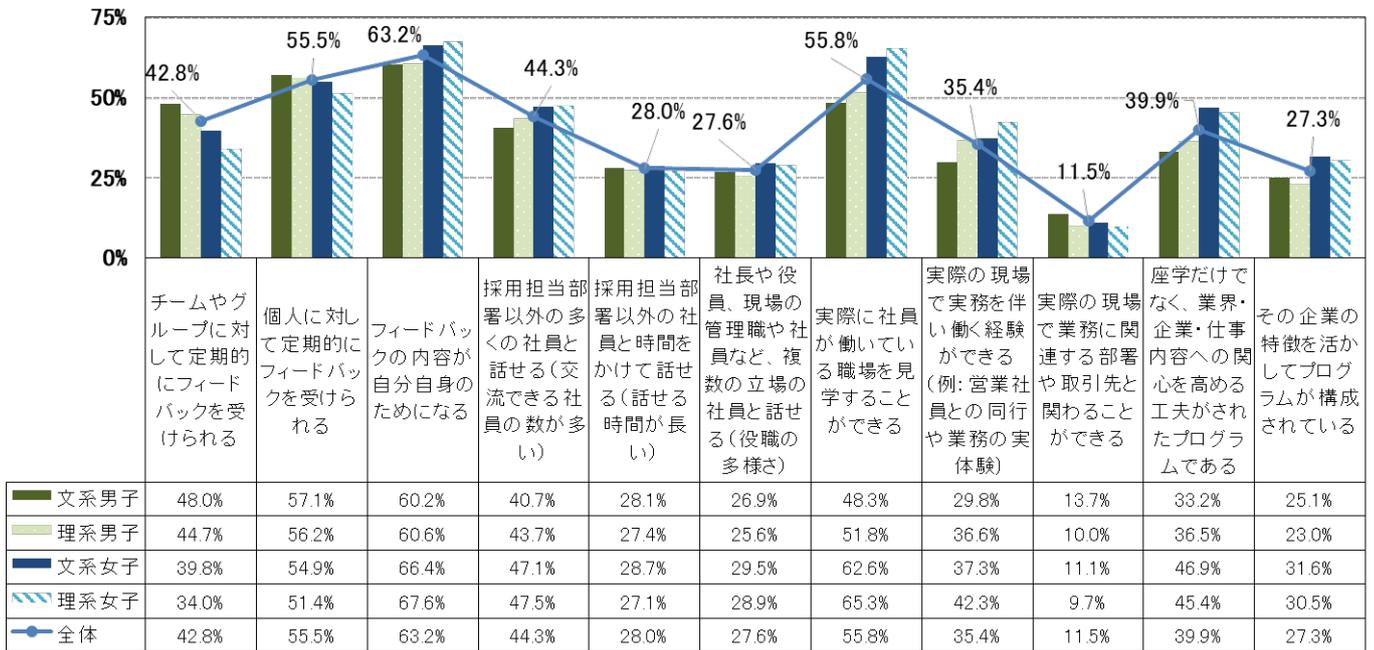
【図2】インターンシップに関する現状(n=6,336)



【図3】インターンシップのプログラムを選択する際の基準 (n=6,293)



【図4】参加したいインターンシップのプログラムの内容 (n=6,286)



【調査概要】『2021年卒マイナビ大学生インターンシップ前の意識調査』

調査期間：2019年6月20日(木)～6月30日(日)

調査方法：マイナビ2021会員のうち、「2021年春」に卒業予定の大学生・大学院生

回答方法：Web上のアンケートフォームで回収

有効回答数：6,336名(内訳：文系男子983名 理系男子1,099名 文系女子3,092名 理系女子1,162名)

調査結果の詳細は、会社HPのニュースリリース(<https://www.mynavi.jp/news/>)からご確認いただけます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
 社長室 リサーチ&マーケティング部 小川
 Tel : 03-6267-4571 Fax : 03-6267-4145
 Email : myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
 社長室 広報部 福島
 Tel : 03-6267-4155 Fax : 03-6267-4050
 Email : koho@mynavi.jp